

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月12日
【四半期会計期間】	第133期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	エコナックホールディングス株式会社
【英訳名】	ECONACH HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 奥村 英夫
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町16番8号 共同ビル （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」 で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都世田谷区代沢5丁目18番1号 代沢カラバッシュビル
【電話番号】	03（5712）2311（代表）

（注）平成24年11月19日から最寄りの連絡場所は下記に移転する予定であります。

最寄りの連絡場所	東京都港区南青山7丁目8番4号 高樹ハイツ
電話番号	03（6418）4391（代表）

【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 菅原 勲
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第132期 第2四半期連結 累計期間	第133期 第2四半期連結 累計期間	第132期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	467,669	494,175	1,005,926
経常利益(千円)	60,500	64,541	135,082
四半期(当期)純利益(千円)	50,828	48,868	125,655
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	57,819	59,592	135,102
純資産額(千円)	3,373,303	3,510,167	3,450,575
総資産額(千円)	4,096,578	4,475,775	4,454,172
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	0.71	0.69	1.77
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	76.7	73.1	72.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	86,890	36,710	141,197
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	500,544	6,158	542,298
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	32,713	13,281	252,542
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	439,241	754,320	737,050

回次	第132期 第2四半期連結 会計期間	第133期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	0.46	0.32

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移につきましては記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から徐々に持ち直しつつあるものの、世界経済の減速や円高の長期化等により先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の下、不動産事業では、港区西麻布及び世田谷区代沢のテナントビル賃貸並びに新宿区の駐車場運営による安定した収益を確保することができました。特に新宿区駐車場の稼働率が高く推移し、売上高は前年同四半期に比べ4.2%増加し121,495千円、営業利益は前年同四半期に比べ6.7%増加し94,275千円となりました。

繊維事業では、4月・5月は盛夏物の綿レースの受注が好調だったものの、6月以降秋冬物の受注が伸び悩んだため、売上高は前年同四半期に比べ3.0%減少し19,396千円となりました。一方、営業損失は引き続きコスト削減に努めました。前年同四半期に比べ251千円増加し3,306千円となりました。

化粧品事業では、ドラッグストアやバラエティショップ向けのOEMの受注が増加した結果、売上高は前年同四半期に比べ10.4%増加し182,024千円となりました。しかしながら、貸倒引当金繰入額が4,904千円増加したことなどにより営業損失は2,225千円となりました（前年同四半期は営業利益4,898千円）。

ゴルフ場事業では、伊豆スカイラインカントリー倶楽部にて各種ゴルフコンペ企画や早朝プレー・午後プレーの充実及びコースコンディションの更なる向上を図ったこと並びに東日本大震災の影響からの回復などにより来場者数が増え、売上高は前年同四半期に比べ3.0%増加し171,257千円となりました。また、一層の経費削減を図った結果、営業利益は前年同四半期に比べ37.0%増加し25,207千円となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は494,175千円（前年同四半期比5.7%増）、営業利益は42,231千円（前年同四半期比29.2%増）、経常利益は64,541千円（前年同四半期比6.7%増）、四半期純利益は48,868千円（前年同四半期比3.9%減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品などたな卸資産の増加などにより前連結会計年度末と比較して21,602千円増加し、4,475,775千円となりました。負債は、長期借入金や未払金の減少などにより前連結会計年度末と比較して37,989千円減少し、965,607千円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して59,592千円増加し、3,510,167千円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ17,270千円増加し、754,320千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、36,710千円（前年同四半期は86,890千円の獲得）となりました。これは、主に売上債権の減少や利息及び配当金の受取りによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、6,158千円（前年同四半期は500,544千円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、13,281千円（前年同四半期は32,713千円の使用）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	280,000,000
計	280,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	71,177,466	71,177,466	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であり、 単元株式数は 1,000株でありま す。
計	71,177,466	71,177,466	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高(千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	71,177	-	3,224,825	-	-

## (6)【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社ケブラム	東京都新宿区歌舞伎町1丁目1-4	3,470	4.87
株式会社トーテム	東京都港区南青山7丁目8-4	3,400	4.77
株式会社広共コーポレーション	広島市中区幟町14-5	3,120	4.38
有限会社F.M.K.9	東京都西東京市ひばりが丘4丁目6-E-505	3,000	4.21
吉村浩太郎	千葉県白井市	3,000	4.21
有限会社NAC	東京都港区南青山7丁目8-4	2,297	3.22
山河企画有限会社	広島市西区観音町9-4-202	2,000	2.80
有限会社MBL	東京都港区南麻布1丁目6-31-101	1,967	2.76
株式会社船カンショートコース	千葉県白井市神々廻1904-2	1,900	2.66
有限会社YOC	東京都千代田区一番町20-6-203	1,500	2.10
計	-	25,654	36.04

## (7)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 31,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 71,105,000	71,105	-
単元未満株式	普通株式 41,466	-	-
発行済株式総数	71,177,466	-	-
総株主の議決権	-	71,105	-

## 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) エコナックホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋 小伝馬町16番8号	31,000	-	31,000	0.04
計	-	31,000	-	31,000	0.04

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、フロンティア監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	737,050	754,320
受取手形及び売掛金	126,622	98,616
商品及び製品	13,883	17,702
仕掛品	1,450	3,185
原材料及び貯蔵品	38,583	42,502
販売用不動産	303,212	305,637
短期貸付金	298,907	291,050
その他	12,154	46,465
貸倒引当金	5,534	9,833
流動資産合計	1,526,330	1,549,647
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	270,870	267,625
機械装置及び運搬具(純額)	39,370	44,282
工具、器具及び備品(純額)	8,066	6,394
コース勘定	362,224	362,224
土地	2,093,321	2,093,321
建設仮勘定	1,325	1,610
有形固定資産合計	2,775,179	2,775,459
<b>無形固定資産</b>		
のれん	16,383	14,043
借地権	129,024	129,024
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	488	424
無形固定資産合計	147,982	145,578
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	600	600
その他	16,159	12,855
貸倒引当金	12,080	8,365
投資その他の資産合計	4,679	5,090
<b>固定資産合計</b>	2,927,842	2,926,128
<b>資産合計</b>	4,454,172	4,475,775

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,564	20,498
1年内返済予定の長期借入金	25,044	26,714
未払法人税等	9,184	8,649
未払金	31,986	22,072
その他	86,070	69,382
流動負債合計	171,850	147,317
固定負債		
長期借入金	308,268	294,076
資産除去債務	2,726	2,758
再評価に係る繰延税金負債	47,037	47,037
長期預り金	445,892	445,863
その他	27,821	28,555
固定負債合計	831,746	818,290
負債合計	1,003,596	965,607
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,224,825	3,224,825
利益剰余金	82,598	33,730
自己株式	2,049	2,049
株主資本合計	3,140,177	3,189,045
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	84,941	84,941
その他の包括利益累計額合計	84,941	84,941
少数株主持分	225,456	236,180
純資産合計	3,450,575	3,510,167
負債純資産合計	4,454,172	4,475,775

## ( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【 四半期連結損益計算書】

## 【 第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	467,669	494,175
売上原価	279,059	300,297
売上総利益	188,610	193,877
販売費及び一般管理費	155,927	151,646
営業利益	32,683	42,231
営業外収益		
受取利息	25,828	22,216
受取配当金	12	11
その他	5,225	7,278
営業外収益合計	31,065	29,505
営業外費用		
支払利息	560	4,570
減価償却費	1,331	730
有償見本費用	996	1,165
その他	359	729
営業外費用合計	3,247	7,195
経常利益	60,500	64,541
特別利益		
負ののれん発生益	1,218	-
固定資産売却益	419	156
特別利益合計	1,637	156
特別損失		
固定資産除却損	98	171
特別損失合計	98	171
税金等調整前四半期純利益	62,039	64,526
法人税、住民税及び事業税	3,281	4,946
法人税等調整額	939	12
法人税等合計	4,220	4,934
少数株主損益調整前四半期純利益	57,819	59,592
少数株主利益	6,991	10,723
四半期純利益	50,828	48,868

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	57,819	59,592
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	57,819	59,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,828	48,868
少数株主に係る四半期包括利益	6,991	10,723

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	62,039	64,526
減価償却費	21,273	20,637
のれん償却額	2,340	2,340
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,453	585
受取利息及び受取配当金	25,840	22,227
支払利息	560	4,570
長期前払費用償却額	2,479	-
有形固定資産売却損益(は益)	419	156
有形固定資産除却損	98	171
負ののれん発生益	1,218	-
売上債権の増減額(は増加)	17,103	28,005
たな卸資産の増減額(は増加)	2,750	11,898
仕入債務の増減額(は減少)	1,824	933
未払消費税等の増減額(は減少)	5,157	7,915
長期預り金の増減額(は減少)	9,300	29
その他の資産の増減額(は増加)	170	31,059
その他の負債の増減額(は減少)	1,357	24,154
小計	69,626	24,330
利息及び配当金の受取額	23,396	22,224
利息の支払額	396	4,543
法人税等の支払額	5,736	5,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,890	36,710
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,745	14,330
有形固定資産の売却による収入	419	285
無形固定資産の取得による支出	550	-
子会社株式の取得による支出	4,500	-
貸付けによる支出	500,000	-
貸付金の回収による収入	6,832	7,857
差入保証金の回収による収入	-	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	500,544	6,158
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	30,000	-
長期借入金の返済による支出	2,502	12,522
リース債務の返済による支出	184	759
自己株式の取得による支出	27	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,713	13,281
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	446,367	17,270
現金及び現金同等物の期首残高	885,609	737,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	439,241	754,320

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	1,412千円	707千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1. 給料手当	41,512千円	39,733千円
2. 役員報酬	23,730	23,330
3. 諸会費・手数料	35,481	32,868
4. 貸倒引当金繰入額	1,520	5,157

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	439,241千円	754,320千円
現金及び現金同等物	439,241	754,320

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	116,595	20,003	164,847	166,223	467,669
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	272	-	272
計	116,595	20,003	165,119	166,223	467,942
セグメント利益又は損失( )	88,357	3,054	4,898	18,398	108,599

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	108,599
のれんの償却額	2,340
全社費用(注)	73,575
四半期連結損益計算書の営業利益	32,683

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 (千円)	繊維 (千円)	化粧品 (千円)	ゴルフ場 (千円)	合計 (千円)
売上高					
外部顧客への売上高	121,495	19,396	182,024	171,257	494,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	322	-	322
計	121,495	19,396	182,347	171,257	494,497
セグメント利益又は損失( )	94,275	3,306	2,225	25,207	113,951

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	113,951
のれんの償却額	2,340
全社費用(注)	69,379
四半期連結損益計算書の営業利益	42,231

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	71銭	69銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	50,828	48,868
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	50,828	48,868
普通株式の期中平均株式数(株)	71,146,492	71,145,984

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

エコナックホールディングス株式会社  
取締役会 御中

### フロンティア監査法人

指定社員 公認会計士 遠田 晴夫 印  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 本郷 大輔 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエコナックホールディングス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エコナックホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲には、XBRLデータ自体は含まれていません。